



※  は市旗です。市全体の話題の場合に表記しています。



大和選手の弾丸応援ツアーで大感動!

6月28日～30日、阪神タイガース大和選手(祇川町出身)を応援しようと、ファン・関係者など70人による「弾丸応援ツアー」が行われました。

大和選手は、毎年1月に市内でチームメイトらと自主トレを行っており、今年は少年野球教室も開催。感謝の意を含め、市観光協会を中心に実施したものです。

試合は、大和選手が3安打の大活躍。最終回は自身初のサヨナラヒットで、お立ち台へ。試合後、甲子園球場は「大和コール」が鳴りやまず、ツアー客全員が感動・涙していました。この応援ツアーの様子は、大和選手の活躍により、TV・新聞で大きく取り上げられました。



鹿屋 舞台芸術「夕鶴」に喝采

6月13日に寿北小学校、26日に大黒小学校で、鹿屋市を拠点に活動する市民劇団「かな」による「夕鶴」の公演が行われました。これは、芸術に接する機会の少ない小学生に、舞台芸術を鑑賞してもらおうと行われたもの。

当日は、児童だけでなく地域の皆さんも鑑賞。迫真の演技が披露される舞台に真剣に見入り、喝采を送っていました。



小学校英語教育指導法研修会を開催

6月14日、市役所で市内の小・中学校の教諭40人が参加して「小学校英語教育指導法研修会」が開催されました。

会では、小学校外国語活動の立ち上げに関わられた鹿児島純心女子大学の影浦攻教授が講演。その後、「カードを使って話す活動」「自分の思いを伝える活動」などの各演習を行い、外国語活動についての理解を深めていました。



仲間とたすきをつなぐ～鹿児島リレーマラソン～

6月16日、霧ケ丘公園で「第3回鹿児島リレーマラソン@かのやばら園」が行われました。

この大会は、ばら園を含む公園内の1.75kmのコースを各チーム5～20人でたすきをつなぎ42.195kmの完走を目指すもので、大隅半島では初開催。当日は、ファミリーや友人などとエントリーした55チーム約500人がバラ香る園内を力走していました。



大隅はひとつ～大隅スマイルプロジェクト～

6月1日、市文化会館で「大隅スマイルプロジェクト」が行われました。これは「大隅はひとつ」をテーマに、7日間で大隅半島4市5町を駆逐で一週して輪を広げようといわれたもの。アンカーを三遊亭歌之介師匠が務められたほか、辛島美登里さん作曲の「大隅テーマソング」発表、1万人の笑顔写真で作った「モザイクアート」の展示などもありました。



申良「大正3年桜島噴火爆発」手記発見

旧申良町第3代町長で、第2号名誉町民である、故北田武盛氏の「大正3年桜島噴火爆発記念」手記の提供が親族からありました。

手記には、故人が22歳で遭遇した大正3年桜島大噴火について、鹿児島市から見た桜島や市民が逃げ惑う様子を克明に記しており、貴重な資料であるとのこと。

手記の原本は申良総合支所歴史展示コーナーに展示してあります。



鹿屋 田崎池にハスが開花

田崎町の水辺の広場内にある田崎池で、ハスがピンク色の美しい大輪の花を咲かせています。

この花は、4年前に申良公民館前の堀に咲くハスから株分けし植えられたもので、一昨年から花を咲かせるようになりました。

ハスは、7月中旬ごろまで咲き続けますが、昼ごろには花が閉じ始めるため、鑑賞には早朝がおすすめです。



申良 娑羅双樹の花が咲く

6月上旬、平家物語にも登場する「娑羅双樹」の花が、申良町岡崎の有村勇さん宅に咲きました。

15年前から毎年この季節に花を咲かせる「娑羅双樹」は、ツバキ科落葉樹の「ナツツバキ」のことです。

朝に白い花が咲き、夕べには花びらを散らさず、地面にポトンと落ちるいさぎよい散り方の様子から、無常の象徴とされています。



ふるさとの魅力発信に貢献「関西鹿屋会」総会

6月30日、大阪市のホテルで「第5回関西鹿屋会総会」が開催されました。

当日は、関西在住の市出身者等140人が出席し、鹿屋市の特産品・観光PR活動等が報告されたほか、鹿屋市内の観光名所や旧跡等をまとめたビデオが放映されました。懇親会では、ふるさとの話題や鹿屋の特産品を賞品とした抽選会等で大変盛り上がりしました。



ふるさとの魅力発信に貢献「関東地区吾平会」総会

6月9日、東京都内のホテルで、「第18回関東地区吾平会総会」が開催されました。

当日は、関東地区の吾平町出身者など70人が出席。会場には、吾平の学校の様子や河川愛護の作文・図画コンクールの作品が展示され、特産品等の即売のほか、美里吾平のイメージキャラクター「うがやくん」の登場もあり、故郷の話題で盛り上がりしました。



ハンセン病問題への正しい理解を深める

6月28日、ハンセン病問題への正しい理解を深めることを目的に市中央公民館で「ハンセン病問題啓発講演会」が開催され、約70人が参加しました。講演会では、星塚敬愛園の後藤正道園長が「ハンセン病の正しい知識」と題して講演。また、同園入所者の山口シメ子氏が「手紙」と題して、過酷だった過去の記憶を乗り越え今を生きる大切さを訴えました。